

新公立邑智病院改革プラン点検・評価報告書
(平成30年度 実施状況)

令和元年8月

新公立邑智病院改革プラン経営評価委員会

はじめに

新公立邑智病院改革プランは、平成 29 年度から平成 32 年度（令和 2 年度）の 4 年間を対象期間としており、毎年、点検・評価・公表を行うこととなっている。令和元年 8 月 26 日、新公立邑智病院改革プラン経営評価委員会設置要綱により委員会を招集した。

当委員会としては、平成 30 年度における、①地域医療構想を踏まえた役割の明確化、②経営の効率化、③再編・ネットワーク化、④経営形態の見直し、⑤その他地域医療について必要なこと、の 5 項目について点検・評価を行ったので、ここに報告する。

基本的な考え方

総務省が示した公立病院改革の目的は、公・民の適切な役割分担の下、地域において必要な医療供給体制の確保を図り、その中で公立病院が安定した経営の下でへき地医療・不採算医療や高度・先進医療等を提供する重要な役割を継続的に担っていくことができるようにすることである。

なお、点検・評価等の結果、新改革プランで掲げた経営指標に係る数値目標の達成が著しく困難であると認めるときは、改革プラン全体を抜本的に見直す必要がある。

5 項目の点検・評価

① 地域医療構想を踏まえた役割の明確化について

公立邑智病院では、郡立の病院として邑智郡内の自治体と連携を図り、郡内唯一の救急告示病院、急性期病院としての役割を担うとともに現状の 98 床を維持し、急性期・回復期の入院療養機能を担っている。また、まちづくりの中心である周産期、小児を医療の面から支援する役割も果たしている。この様な中、周産期医療の周辺環境では、分娩の取扱ができる近隣の病院が年々減っており、

公立邑智病院の産婦人科の需要は高まる見込である。

平成 30 年度決算見込みによる実績では、業務量の増加と比例して、計画した数値目標を概ね達成できている。

「救急患者数」では、計画値及び前年度実績の両方で減少しているが、休日や夜間のコンビニ受診の減少が要因であり、公立邑智病院を支援する会と連携した啓発活動で「適切な救急受診」を呼びかけた成果と考える。

「手術件数」は、前年度に引き続き計画値を超える件数を維持している。引き続き近隣の高次病院と連携し、地域に必要な手術の実施を望む。

② 経営の効率化について

経営指標に係る数値は、平成 30 年度の「経常収支比率」104.8%が示すとおり、計画した目標を概ね達成できている。

収支計画における職員給与費は、見込値に対し次年度以降の計画値に差異があるが、平成 28 年度の計画策定後、医療提供体制の変化に合わせリハビリテーション技師の増員を行っていることが要因である。しかしながら、会計年度職員制度の導入に伴う増加等の不確定要素もあり、計画の見直しについては継続検討するとした。

医師数の計画値については、勤務医師実態調査で希望する値であり、実績値は非常勤医師の増減を含めて不安定な要素がある。平成 30 年度の実績は計画に近づいてきており、島根大学や島根県の協力を得ての医師確保状況を評価する。

③ 再編・ネットワーク化について

地域の医療事情は悪くなる一方であり、大田市と邑智郡との距離間を鑑みると急性期の医療機能分担や統合は困難であり、大田市立病院と公立邑智病院の急性期機能、二次救急・小児・周産期・整形外科等をそれぞれ維持する必要がある、再編は考えられない。

ネットワーク化については、平成 30 年 10 月に大田医療圏域内で締結した、4 病院連携協定や「まめネット」等を活用して県や自治体及び近隣の医療機関との更なる連携を希望する。

④ 経営形態の見直しについて

自治体病院を取り巻く環境は厳しく、なかでも 200 床未満の中小規模病院は、独自の採算性が低いとされている。しかしながら、中山間・過疎地域における自治体病院の存在は、地域を維持する上でも重要であり、邑智郡 3 町の行政と密に連携できる現在の経営形態（一部適用）の利点は高く、現状では見直しの必要ないと思われる。

⑤ その他地域医療について必要なことについて

地域包括ケアシステムの中で求められる病院の役割の把握等を継続して行い、今後も地域に必要な医療の提供に努めて頂きたい。

おわりに

新公立邑智病院改革プラン評価委員会として 2 回目の報告を行った。前回に引き続き、各項目の数値目標は概ね達成されており、経常収支の黒字を達成している。地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割に計画されているように、公立病院として、他の病院が担えない医療提供の確保に努力されたい。

また、経営の効率化についても、引き続き適切な収支分析をし、健全な病院運営に努められることを望む。

新公立邑智病院改革プラン経営評価委員会
委員長 飯田武則

○第2回 新公立邑智病院改革プラン経営評価委員会

日時 令和 元年 8月 26日 (月) 11時 00分～12時 00分

場所 公立邑智病院研修棟 第一研修室

○新公立邑智病院改革プラン経営評価委員会委員

委員長 飯 田 武 則 (川本町議会 議長)

副委員長 山 中 康 樹 (邑南町議会 議長)

委員 長 崎 みゆき (島根県県央保健所 所長)

佐 竹 一 夫 (美郷町議会 議長)

谷 川 賢 治 (川本町 副町長)

岸 本 建 夫 (美郷町 副町長)

日 高 輝 和 (邑南町 副町長)

荘 田 恭 仁 (公立邑智病院 院長)

○事務局 公立邑智病院 事務部

日 高 武 英 (事務部長)

日 野 山 秀 子 (地域連携室長)

金 山 淳 生 (医事管理課長)

土 井 祐 子 (総務経営課長)

朝 枝 照 見 (総務経営課総務係長)

服 部 脩 平 (総務経営課主任主事)